

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	地域生活応援センター やまさん			
○保護者評価実施期間	2024年12月23日～2025年1月10日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20(兄弟利用で19家族)	(回答者数)	16(兄弟利用で15家族)
○従業者評価実施期間	2024年12月23日～2025年1月10日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月15日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・設備の充実、バリアフリー ・福祉機器の導入（天井走行リフト、スタンディングリフトなど） ・営業時間（祝日や長期休暇等1日利用時8：00～18：00） ・給食の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別療育時など、用途によって、パーテーションで仕切ることで、集中できる環境作り ・重症心身障害児の受け入れ ・活動に合わせた環境設定がしやすい。 (運動時は、スイングや滑り台など遊具を設営するが、制作などの机上活動時は、机を並べる等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・曜日によって、障害の程度によってグループ分けすることで、活動しやすい環境を作る。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職配置（OT、看護師など） ・入浴設備の充実 ・外部講師の来所 	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携を図ることができる。 ・医療的ケアの受入れ ・入浴支援の実施（重症心身障害児・医療的ケア児） ・外部講師の意見を参考にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師の意見を取り入れ、意見交換の場を設ける。

3			
---	--	--	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・特徴がない。 ・外部発信が弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・何を中心療育しているかわかりにくい。 ・情報発信がマンネリ化している。（パンフレットのみ） 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々に合わせた個別療育に力をいれて取り組む。 ・インスタグラムの開設。（外部発信の一つの手段として）
2	<ul style="list-style-type: none"> ・外出する機会が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・重心、医ケア児の方々が外出する際に、看護師の同乗が必要だったり、外出が難しい利用児もいるため、全員で外出することが難しい。また、車いすのため、マンツーマン対応で実施が必要であり、人員が足りない場合もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児全員が偏りなく外出できるように、年間計画を作成し、外出時は人員配置を多くし、マンツーマン対応できるようにする。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・経験のある職員がいない。 (長年、療育に携わっている) 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師より療育などについて助言を頂き、日々の支援に役立てている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師による療育に関する助言だけでなく、定期的に研修会や勉強会などを開催し、療育への理解を深める機会を設ける。 ・他事業所の見学など、学びの場を設ける。